

## 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 平成30事業年度の業務実績に関する評価結果（素案）の検討結果

## (1) 大項目評価

大項目No.	年度計画に定めた項目	知事評価 (素案)	委員意見	知事評価 (案)
2	I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 2 高度化する企業の技術開発・製品開発に伴走する企業支援研究等の推進 3 大阪産業の持続的発展のための研究開発の戦略的展開	A	○経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業」など、競争的外部資金を新たに獲得して研究に取り組んでおり、中小企業の活性化や技術の高度化に貢献していることは高く評価する。 ○「企業支援研究実施件数」及び「競争的外部資金研究実施件数」が年度計画に定めた目標値を上回り、その他幅広い項目についても計画どおり実施している。とりわけ、トヨタなどの大企業が参加するオールジャパンの国家プロジェクトである「NEDO 先進・革新蓄電池材料評価技術開発（第2期）事業」に公設試験研究機関で唯一参画しており、これは「特筆すべき進捗状況」であることから、本項目は「S」評価が妥当と判断する。	S

## (2) 小項目評価

小項目No.	年度計画に定めた項目	知事評価 (素案)	委員意見	知事評価 (案)
10	I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 5 顧客満足度を高める事業化までの一貫通貫の企業支援	Ⅲ	○「製品化成果事例件数」、「技術情報発信件数」及び「審査の上掲載された研究成果発信件数」の数値目標では、「Ⅲ」評価（「計画を順調に実施」している）となるが、一貫通貫支援の充実強化に向けた産学官連携の推進、電話内線化などのワンストップ化による顧客サービスの向上、企業支援のための情報収集・分析と情報発信の項目全般について積極的に実施しており、中小企業へのサービス向上に大きく貢献していると認められることから、本項目は「Ⅳ」評価（「計画を上回って」実施している）が妥当と判断する。	Ⅳ